



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 整形外科 梨井 泰熙
(代理)

【研究責任者】

聖路加国際病院 整形外科 梨井 泰熙

当院の整形外科にて骨折に対して

手術を行われた方を対象とした研究

1.研究の対象

2014年9月～2024年8月に当院整形外科でアルコール使用障害（アルコール依存症、アルコール性肝障害(肝炎、線維症、肝硬変)）と診断され、骨折に対して手術加療を受けられた方

2.研究の目的・方法

アルコール使用障害とは、アルコール使用を中止したりコントロールしたりする能力が損なわれていることを特徴とする、慢性再発性の疾患です。アルコール使用障害では、骨折リスクも高く、通常の骨折治療と区別して加療する必要があると考えられています。今回、骨折により当院整形外科で手術を必要としたアルコール使用障害の患者さんについて背景、身体所見、画像所見、手術所見を調査、検討することを目的としています。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年11月11日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

患者背景：年齢、性別、身長、体重、BMI、受傷起点、飲酒習慣、手術後外来フォロー期間

画像所見：骨折の場所、程度

手術所見：使用インプラント、使用場所、手術方法

《試料》 なし